

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和4年5月

学校法人 平山学園

I 法人の概要

1 建学の精神

本学園は建学の精神を「全校一大家族」と定め、「この世の全ての人を家族と考え、人のため、世のために奉仕できる人格の育成」を目指しています。

【校是】

- 信仰（感謝） … 生かされている自分を実感する心
- 勤労（奉仕） … 利他に徹し奉仕する心
- 実際（真実） … 真実の生き方を見だし、実践する心

本校の教育目標は、自分の幸せのみならず、他の人の幸せも併せて追求するという、利他・奉仕の精神を持った豊かな人間性の育成と、将来社会で貢献するために必要とされる確かな学力を身につけ、生徒の希望する進路を実現させることにあります。

【教育方針】

- バランスのとれた高い学力の育成
- 一人ひとりの特性、個性に応じた進路形成指導
- 「自立と自律」を目指した社会性の育成
- 国際理解・交流を通じた国際性の育成

2 沿革

大正15年	津島裁縫女学校創立
昭和13年	校名を津島高等裁縫女学校と改称
昭和16年	校名を津島高等実科女学校と改称
昭和18年	校名を財団法人津島女子商業学校と改称
昭和23年	校名を学校法人平山学園津島女子高等学校（家政科、商業科、普通科）と改称
昭和50年	海外姉妹校提携（アメリカ2校）、海外研修旅行開始
昭和51年	海外姉妹校提携（ヨーロッパ3校）
昭和53年	海外姉妹校提携（オーストラリア3校）、短期留学生受け入れ開始
昭和59年	海外姉妹校提携（韓国、善一学園）
昭和60年	米サウスイースト・ミズーリ州立大学と提携、長期留学開始
昭和61年	普通科に国際コースを併設、語学研修開始
昭和62年	海外姉妹校提携（オーストラリア2校）
平成4年	特別姉妹校 South Queensland International College 開校 特別姉妹校 Hills Language College 開校 特別姉妹校 South Queensland Academy 開校
平成6年	海外姉妹校提携（台湾、静修女子高級中学）
平成13年	校名を清林館高等学校と改称 普通科に文理コース、医療看護福祉系進学コース、進学総合コースを併設 文理コース、国際コースI類を男女共学化 海外姉妹校提携（オーストラリア1校）
平成15年	普通科全コース男女共学化
平成16年	海外姉妹校提携（ニュージーランド1校、オーストラリア1校）
平成29年	普通科を文理特進コース、文理選抜コース、国際コース、進学総合コースの4コースに改編
平成30年	新校舎竣工（愛西市持中町八町88番地） 新校舎にて教育活動開始（4月1日）

3 設置する学校・課程・学科等

設置する学校	開校年月日	課程	学科
清林館高等学校	昭和23年4月1日	全日制課程	普通科

4 生徒数の状況

令和3年5月1日現在

学科	入学定員数	収容定員数	現員数
普通科	480人	1,440人	1,271人

5 役員の状況

定数 理事 6名、監事 2名

令和4年3月31日現在

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	平山 哲明	常勤	
理事	梶村 繁夫	常勤	校長
理事	有本 誠二	常勤	事務局長
理事	平山 哲了	非常勤	
理事	池浦 孝	非常勤	
理事	丸山 悟	非常勤	
監事	橋本 香苗	非常勤	
監事	岡田 和幸	非常勤	

前会計年度以降の役員異動

令和4年3月31日 平山哲明理事長退任（非常勤理事として留任）

令和4年4月 1日 梶村繁夫理事長就任（清林館高等学校校長兼務）

(1) 責任限定契約

私立学校法に従い、令和2年4月1日より責任限定契約を締結している。

・対象役員

非業務執行理事（平山哲了、池浦孝、丸山悟）、監事（橋本香苗、岡田和幸）

・契約内容の概要

非業務執行理事及び監事がその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときは金1円と役員報酬の2年分とのいずれか高い額を責任限度額とする。

・契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約内容に、役員がその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときに限る旨の定めがある。

(2) 役員の実任の免除

役員の実任懈怠により生じた法人に対する賠償責任は、当該役員が善意でかつ重大な過失がない場合には、賠償責任を負う額から私立学校法に定める最低責任限度額までを理事会の議決によって免除できる。

6 評議員の状況

定数 13名

令和4年3月31日現在

氏名			
平山 哲明	梶村 繁夫	有本 誠二	安藤 智基
廣瀬 淳一	成田 光善	安藤 悦子	服部八重子
三輪日佐枝	川田 安正	加藤 大典	溝口 祐一
村上 正代			

7 教職員の状況

令和3年5月1日現在

区 分	専 任	兼 任	計
教諭・講師	89人	11人	100人
事務職員	9人		9人
嘱託職員		12人	12人
労務職員		4人	4人
校 医		5人	5人
合 計	98人	32人	130人

II 事業の概要

(1) 事業の概要

令和3年度は、前年度に続く新型コロナウイルス感染症の影響で、清林館高等学校の教育活動は大きく影響を受け、学校運営は例年とは大きく異なるものとなりました。そのような中、学園・学校を挙げて、「ICT活用（E d t e c h）の推進」と「感染症予防の取り組み」を最重点課題として取り組みました。授業だけでなく、学校行事や募集イベントにおいても、動画配信の活用や各教室での分散実施、午前午後の分離開催など工夫を凝らし、感染予防に最大限配慮したうえで開催しました。

また、前年度末に完成した、中長期ビジョン“HOPE for 2030”に基づく、「進学実績の向上」「ICT活用教育の実践」「広報活動の推進・アルムナイ組織の構築」の3項目について、検討を継続しました。更に、生徒の安定確保に向け、中学校設立について具体的な検討を開始致しました。

平山学園・清林館高等学校 中長期ビジョン“HOPE for 2030”



(2) 法人本部の主な活動

ア 理事会の開催

第1回理事会 令和3年5月27日開催

【主な審議事項】

- ・令和2年度事業報告・決算について
- ・経営計画について
- ・令和3年度事業計画・補正予算について
- ・ヒルズ学園の不動産担保について

第2回理事会 令和3年10月21日開催

【主な審議事項】

- ・奨学生に関する諸規程改訂について
- ・令和3年度予算補正について
- ・役員報酬等規程の制定について

第3回理事会 令和4年2月24日開催

【主な審議事項】

- ・令和3年度補正予算について
- ・令和4年度予算について
- ・清林館高等学校学則改訂について
- ・令和4年度資金運用計画について
- ・理事長の交代について
- ・令和4年度の役員報酬について
- ・理事長の役員退職慰労金支給について
- ・理事長の職務代理に関する順位について
- ・学園長規程の制定及び学園長の委嘱について

イ 評議員会の開催

第1回評議員会 令和3年5月27日開催

【主な審議事項】

- ・第1回理事会議案に同じ

第2回評議員会 令和3年10月21日開催

【主な審議事項】

- ・第2回理事会議案に同じ

第3回評議員会 令和4年2月24日開催

【主な審議事項】

- ・第3回理事会議案に概ね同じ

ウ 監査の状況

公認会計士監査 3回

法人監事監査 3回

(3) 清林館高等学校の主な活動

ア 学事関係

(新型コロナウイルス感染予防に重点を置いて活動)

4月 1日	長期留学生派遣 (私費)
4月 6日	入学式
4月 8日	1学期始業式
6月 4日	創立記念式典・人権講演
7月12日	校外研修 (3年生、修学旅行代替)
7月20日	1学期終業式
9月 1日	2学期始業式
9月 1日	長期留学生派遣 (私費)
9月 7日	体育祭
9月10日	清林祭 (~11日)
9月28日	校内弁論大会、芸能祭
11月 4日	感謝の会
12月20日	2学期終業式
1月 7日	3学期始業式
1月26日	推薦選抜・スカラシップ特別選抜試験
2月 2日	一般選抜試験
3月 1日	卒業証書授与式
3月16日	球技大会 (~17日)
3月18日	3学期終業式

※中止した主な行事…語学研修 (各コース)、海外研修旅行

※日程変更した主な行事…修学旅行 (令和4年6月予定)

イ 生徒募集関係

6月26日	第2回オープンスクール
8月 9日	国際コース説明会
8月19日	中学校対象入試説明会
8月21日	第1回体験入学会 (~22日)
9月16日	塾対象入試説明会
10月 2日	第2回体験入学会
10月23日	私立学校展 (~24日)
11月 3日	第1回入試説明会
11月27日	第2回入試説明会

※第1回オープンスクールは中止

Ⅲ 財務の概要

令和3年度の資金収支計算書（表1）の概要は次の通りです。

収入合計は26億3百万円で、予算比では下記表の通りです。前年度からは繰越金除きで8百万円増加しています。主な増減は、学生生徒等納付金▲74百万円、前受金＋35百万円、その他収入＋7百万円、調整勘定＋25百万円となりました。

支出合計は26億3百万円で、予算比では下記表の通りです。繰越金除きでは10億2百万円で、前年度から31百万円減少しています。人件費が＋35百万円、教育研究管理費は▲21百万円で、この主な要因は奨学費▲17百万円、委託料▲7百万円です。

この結果、翌年度繰越金は16億円となりました。

（表1）資金収支計算書

（単位 円）

消費収入の部	予 算①	決 算②	差異①－②
学生生徒等納付金	571,071,467	571,071,467	0
手数料	28,334,000	28,378,900	▲ 44,900
寄付金	1,500,000	1,705,000	▲ 205,000
補助金	441,301,155	488,982,653	▲ 47,681,498
資産売却収入	0	0	0
受取利息・配当金	1,600,000	1,563,399	36,601
雑収入	27,448,175	27,538,132	▲ 89,957
前受金収入	158,100,000	217,112,500	▲ 59,012,500
その他の収入	110,737,178	117,309,418	▲ 6,572,240
資金収入調整勘定	▲ 201,663,055	▲ 203,169,805	1,506,750
前年度繰越支払資金	1,352,421,702	1,352,421,702	
収入の部合計	2,490,850,622	2,602,913,366	▲ 112,062,744

消費支出の部	予 算①	決 算②	差異①－②
人件費	759,100,000	745,059,074	14,040,926
教育研究管理経費	222,500,000	124,656,439	97,843,561
借入金等利息	6,399,360	6,399,360	0
借入金等返済	66,660,000	66,660,000	0
施設関係支出	9,000,000	696,300	8,303,700
設備関係支出	12,000,000	2,086,780	9,913,220
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	101,048,920	102,866,406	▲ 1,817,486
予備費	35,000,000	0	35,000,000
資金支出調整勘定	▲ 46,382,560	▲ 45,979,398	▲ 403,162
次年度繰越支払資金	1,325,524,902	1,600,468,405	▲ 274,943,503
支出の部合計	2,490,850,622	2,602,913,366	▲ 112,062,744

(表2) 事業活動収支計算書

(単位 円)

科目	予 算①	決 算②	差異①-②
学生生徒等納付金	571,071,467	571,071,467	0
手数料	28,334,000	28,378,900	▲ 44,900
寄付金	1,500,000	1,705,000	▲ 205,000
経常費等補助金	439,035,155	486,716,653	▲ 47,681,498
雑収入	27,448,175	27,538,132	▲ 89,857
教育活動収入計	1,067,388,797	1,115,410,152	▲ 48,021,355
人件費	759,100,000	745,059,074	14,040,926
教育研究経費	296,396,900	205,679,474	90,717,426
教育活動支出計	1,055,496,900	950,738,548	104,758,352
教育活動収支差額	11,891,897	164,671,604	▲ 152,779,707
施設整備補助金	2,266,000	2,266,000	0
受取利息・配当金	1,600,000	1,563,399	36,601
その他教育活動会収入	1,000,000	0	1,000,000
教育活動外収入計	4,866,000	3,829,399	1,036,601
借入金利息等	6,399,360	6,399,390	0
その他教育外活動支出	10,000,000	4,613,500	5,386,500
教育活動外支出計	16,399,360	11,012,860	5,386,500
教育活動外収支差額	▲ 11,533,360	▲ 7,183,461	▲ 4,349,899
経常収支差額	358,537	157,488,143	▲ 157,129,606
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	0	0
特別収入計	0	0	0
資産処分差額	0	233,282	▲ 233,282
その他特別損失	1,103,100	1,103,100	0
特別支出計	1,103,100	1,336,382	▲ 233,282
特別収支差額	▲ 1,103,100	▲ 1,336,382	▲ 233,282
予備費	35,000,000	0	35,000,000
基本金組入前当年度収支差額	▲ 35,744,563	156,151,761	▲ 191,896,324
基本金組入額合計	▲ 87,660,000	▲ 69,443,080	▲ 18,216,920
当年度収支差額	▲ 123,404,563	86,708,681	▲ 210,113,244
前年度繰越収支差額	2,138,839,127	2,260,863,605	▲ 122,024,478
基本金取崩額	0	1,809,100	▲ 1,809,100
翌年度繰越収支差額	2,015,434,564	2,349,381,386	▲ 333,946,822
事業活動収入計	1,072,254,797	1,119,239,551	▲ 46,984,754
事業活動支出計	1,072,999,360	963,087,790	109,911,570

令和3年度末の貸借対照表（表3）の概要は、次の通りです。

資産総額は、78億78百万円で、前期比95百万円増加しました。主なものは、有形固定資産が減価償却を中心に▲83百万円、借入金返済特定資産が▲67百万円、現預金が+2億50百万円などです。

負債総額は、14億19百万円で前期比61百万円減少しました。借入金の返済が主なものです。

基本金は41億9百万円と前期比68百万円増加しました。

（表3）貸借対照表

（単位 円）

	令和4年3月末	令和3年3月末	前期末比増減
固定資産	6,255,301,083	6,386,422,391	▲131,121,308
流動資産	1,622,664,087	1,396,748,585	245,915,492
資産の部合計	7,877,965,170	7,783,170,986	114,794,184
固定負債	933,240,000	999,900,000	▲66,660,000
流動負債	485,854,396	480,551,973	5,302,423
負債の部合計	1,419,094,396	1,480,451,973	▲61,357,577
第1号基本金	4,044,489,388	3,976,855,408	67,633,980
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	65,000,000	65,000,000	0
基本金の部合計	4,109,489,388	4,041,855,408	67,633,980
翌年度繰越消費収入超過額	2,349,381,386	2,260,863,605	88,517,781
消費収支差額の部合計	2,349,381,386	2,260,863,605	88,517,781
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	7,877,965,170	7,783,170,986	94,794,184

人件費比率（対教育活動収入）		66.8%
教育研究経費比率（対教育活動収入）		18.4%
主な有形固定資産	土地	1,712,691,329 円
	建物	2,295,265,835 円
	構築物	347,979,570 円
	機器備品	137,715,091 円
借入金	日本私立学校振興・共済事業団	999,900,000 円

(表4) 財産目録

種 類	金 額 (円)
土地	1,712,691,329
建物	1,831,976,538
建物付属設備	463,289,297
構築物	347,979,570
機器備品	137,715,091
図書	11,194,252
車両	1,635,491
建設仮勘定	69,648,416
有価証券	100,000
長期貸付金	1,439,473,489
借入金返済引当特定資産	179,900,000
100周年特定預金	18,000,000
修繕積立金	40,000,000
電話加入権	1,697,610
現金預金	1,570,357,322
未収入金	21,294,805
前払金	431,000
仮払金	0
立替金	54,051
貯蔵品	415,826
別会計共積生徒会普通預金	30,111,083
資産の部 合計	7,877,965,170
長期借入金	933,240,000
短期借入金(返済が1年以内の長期借入金)	66,660,000
未払金	135,592,670
前受金	217,112,500
預り金	35,909,413
別会計共積生徒会預り金	30,111,083
預り金	468,730
負債の部 合計	1,419,094,396
正味資産 合計	6,458,870,774